

「おばあちゃん△

小林蒼

ばあちゃんとはくは、たん生日が一日ちが  
いです。ぼくがうまれた時、ばあちゃんは  
「こんなうれしいたん生日プレゼントはない  
よ」と、ぼくが生まれた事を本当によろこん  
でくれたそうです。ばあちゃんは、ぼくが生  
まれる前、病気で体の半分が動かなくなり、  
車いすになっ、てしま、たそうです。でも不自  
由な体でぼくをだ、こしたりごはん食べさせ  
てくれたり、とてもかわいが、てくれました。  
ばあちゃんの家に行くと、いつもやさしい声  
で「あおちゃんよく来たね」と言、てくれま  
した。

ぼくとばあちゃんはこれまでずっと毎年一  
しょにたんじ、う日をお祝、いして来ました。  
去年もみんなでおんせんに行き、い、しよに  
たん生日を、お祝、いしました。でもばあちゃ  
んは、それからすぐ入院して、死んでしま  
いました。ばあちゃんの家に行、つても「あおち  
ゃんよく来たね。」の声は聞、えなくな、り、ぼ

くはさめしくなりました。もっといっしょに  
いたかったな。今ままでかわいがってくれて  
ありがとう。